

【校長挨拶】

令和5年度に、校長に着任した桐田 裕貴(きりた ゆうき)と申します。

「元気」と「可能性」に溢れる大森第三小学校のこどもたちが、世界、そして、未来に羽ばたく力を育むことができるよう、「全てはこどもたちの成長のために」の精神で、教職員と共に力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



敷地内の竹もすくすく育って、立派な竹が生えています。

今年度、開校100周年を迎える大森第三小学校は、令和5年度までに14,504名の卒業生を輩出しました。1925年(大正14年)の創立以来、我が国の歴史や発展を背景に、こどもたちの学びと成長を支えてくださった多くの皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

「あ(挨拶)」「い(いい返事)」「う(運動)」「え(笑顔)」「お(御礼)」は、大森第三小学校のこれからもつないでいく財産です。

<教育の柱>

本校の教育目標は、「元気な子」「考える子」「がんばる子」「やさしい子」です。令和6年度は、「元気な子」に重点を置き、教育活動を進めてまいります。目標を達成するための基本方針として、3つの柱を掲げます。

「豊かな人間性と 社会性の育成」

教育活動全体を通して、人権教育、道徳教育、インクルーシブ教育を重視し、望ましい人間関係づくりと、「大三小10のやくそく」を基盤にした規則正しい生活習慣と規律ある生活態度を育みます。

「確かな学力の育成」

タブレット端末や電子黒板などのICTを有効活用し、「使える力」の育成をねらいます。全教員で研修を重ね、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を推進し、子供たちの思考力・判断力・表現力を養います。

地域力の有効活用と 開かれた学校づくり

今年度は、大きな節目となる100周年の1年です。校内研究をはじめ、これまで築いてきた財産に、地域人材や施設との連携を生かした教育を生み出していきます。

<教職員の想い>

こどもたち一人一人に

どんな「力」が身に付くのか

どんな「意欲」や「目標」を引き出せるか

どんな人や物との「つながり」を生み出せるか

どんな「課題の克服や改善」に導けるのか

どんな「価値観」や「気持ち」を育めるのか

どんな「思い出づくり」につながるのか



「花と緑の大森第三小学校」
こどもたち一人一人が主役です。

世界中のどこにいても見ることができるこのホームページを通して、卒業生、在校生、これまで大森第三小学校に関わってくださった皆様の想いがつながればと存じます。